

日本海沿岸の 18 都市で構成される「日ロ沿岸市長会」と、ロシア極東シベリアの 18 都市からなる「ロ日極東シベリア友好協会」では、1970 年から、両地域の友好親善と経済協力を促進し、両地域の発展を図ることを目的としてこれまで 24 回にわたり日ロ沿岸市長会議を開催してきました。

本年 8 月に舞鶴市で開催した第 24 回日ロ沿岸市長会議では、「両地域諸都市の経済分野における相互協力の強化について」、「両地域諸都市の特性を活かした国際観光の促進について」の 2 つの議題について、日ロ双方の経済・観光関係者の参加を得て具体的な意見交換を行いました。

会議では日本とロシアとの間のエネルギー、農業、インフラ、運輸等の分野における互恵的なプロジェクトの推進の意義が強調されました。会議参加者は、これらの分野での協力が大きな可能性を有していることを認め、さらなる交流の促進に努めることで合意しました。

この会議を踏まえ「日ロ沿岸市長会」では、日ロ両国間の協力関係発展に向けた重要な課題の中でも特に以下の事項を要望いたします。

1. 国土強靱化における日本海側の位置付けの強化について

我が国では太平洋側に様々な機能が過度に集中しており、地域格差の改善だけでなく災害時の危機管理の観点からも喫緊の課題となっています。

一方ロシアでは極東・バイカル地域の戦略的発展プログラムが策定され、アジア太平洋地域との協力関係を強めようとしています。

このような状況で我が国太平洋側に集中している様々な機能を日本海側に分散させることは日本の国土強靱化に資するものであり、ひいては日ロ両国の日本海沿岸地域の発展に寄与するものです。日本海側地域への重点的な投資や日本海国土軸の形成にご高配を賜りますよう、お願いいたします。